

生きている白山に学ぶ水と緑と防災

白山砂防通信



新年あけまして
おめでとうございます

2018.冬号
VOL.39

白山砂防新キャラクター
ちびさばちゃん



百万貫の岩の中で迫力ある3D映画を観よう！

白山砂防科学館は、防災情報の発信や災害・砂防に関する広報と啓発、地域の活性化などを目的として平成13年6月16日に開館しました。

防災センターでもある白山砂防科学館は、白山や砂防・防災について楽しく学べる施設で、展示物の一つである昭和9年7月手取川大洪水で流されてきた百万貫岩の1/2サイズの模型の中はミニシアターとなっていて、3D映画「百万貫の岩は語る」のほか白山や防災に関する映画を上映しています。

(※上映時間は決まっていません。受付窓口へ気軽にお問い合わせください。)

砂防劇場 上映作品紹介



「百万貫の岩は語る」

昭和9年の手取川大洪水で上流から流されてきた「百万貫の岩」。この作品では当時の洪水を検証し、CGで再現しました。3Dで見る大迫力の映像は、土石流災害のすさまじさと砂防事業の重要性が実感できます。【15分】



「生命の源・白山」

白山を源流とする4つの河川流域（手取川・庄川・九頭竜川・長良川）で生活する人々が守っている伝統や文化、そして産業や生活などを川の流れに沿って紹介します。【25分】



「挑む！白山を守るために」

白山の地すべりや土石流などの脅威と立ち向かい、地域を守るため明治より続けられている「白山砂防」。そこに従事する人々の真摯な取組み等を紹介しています。【10分】



「いしかわの砂防」

石川県内の身近なところにある砂防事業を紹介している小学生向けの作品です。
①景観や親水性に配慮した【6分】
②水不足や雪対策の一環として【4分】
③地すべりやがけ崩れ対策として【3分】



「昭和9年の手取川大洪水」

なぜ手取川は氾濫するのか？手取川流域全体で死者・行方不明者112名を出した昭和9年(1934)7月の手取川大洪水の記録と歴史を当時の映像や助かった人たちの証言を交えて紹介している作品です。【10分】

平成29年度 白山で行われた砂防及び地すべり対策事業を紹介します



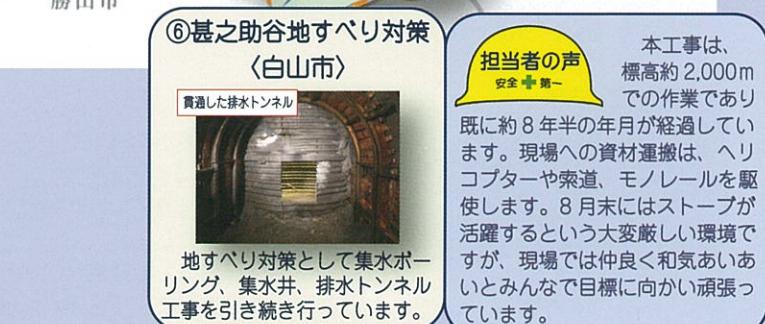
担当者の声
安全 第一

着手当初より、中ノ川の増水や北電の放水の影響で工程に余裕がなく、常に増水への対応や安全性、作業効率を念頭に置いて一つ一つのプロセスを短縮する必要がありました。提案と協議を重ねて、ようやく現場に入ることができても、実際の現場では次々に課題が発生し、悩みが尽きない毎日でしたが、無事工期内に完成させることができました。



担当者の声
安全 第一

本工事より本格的にアンカーワーク法の着手となりました。北陸地方整備局管内での初のアンカーワーク法を用いた砂防堰堤補強工事で、全国的にも施工実績が少ないと数多くの課題や問題点がありましたが、関係者の皆さまの技術力と知恵の結集により、難工事を無事完成することができました。今後もこの経験を活かし、事業が無事完成を迎えるよう努めてまいります。



平成29年度白山砂防女性特派員の主な活動



白山砂防女性特派員
ちびさぼちゃん

白山砂防女性特派員とは…

豊かな自然を持っている反面、土砂災害の恐ろしさも有している白山の自然と人命を守る砂防事業の必要性や白山砂防の歴史を学び、その歴史的価値や技術の伝承と手取川流域に住む人々の交流と地域の活性化を女性の目線に立って行っていこうという目的で設立され、今年度（平成29年）で第15期生となっています。

小学校高学年向けの砂防事業に関する出前講座用資料作成活動

小学生にわかりやすい資料にするため、みんなで検討を重ねました



資料作成の最終段階、
全体の流れをチェックします

今年は、砂防施設見学等の活動を通して学んだ知識を生かし「小学校高学年向けの砂防事業に関する出前講座用資料」を作成しました。

資料作成テーマは、特派員たちが小学生のみなさんに伝えたい「土砂災害に対する心構えの大切さと砂防事業の必要性」、タイトルは「土砂災害～みんなの命を守るために～」としました。特派員たちがそれぞれ班に分かれ、

1. 土砂災害とはなにか
2. その土砂災害を防ぐために行われている砂防事業について
3. 土砂災害から身を守るための方法

という3部構成でわかりやすい言葉を選びながら作成しました。

今後は特派員たちが小学校へ出向き、今回作成した資料の説明を実施していく予定です。

※白山砂防女性特派員たちが作成した資料及び出前講座に関して

詳しくは… 金沢河川国道事務所 流域対策課までお問い合わせください。



特派員たちが作成した出前講座資料
「土砂災害～みんなの命を守るために～」抜粋



その他の活動

土砂災害防止月間の広報キャラバン
や富山県の砂防施設見学を行いました。



土砂災害防止月間広報キャラバン



富山県砂防施設見学

平成30年度（第16期）白山砂防女性特派員メンバー募集中！

- ・募集時期 1月下旬～2月20日まで
- ・募集人数 20名程度
- ・募集条件 石川県在住で20～65歳までの砂防に興味があり、活動へ積極的に参加できる方
- ・任期 1年間（4月～翌年3月）

詳しくは金沢河川国道事務所 流域対策課までお問い合わせください。

また白山砂防女性特派員の活動の様子は白山砂防HP内にて掲載しています。
「白山砂防女性特派員」で検索してくださいね！

どしどし
ご応募お待ち
しています！

白山砂防女性特派員

検索



◇イベントレポート◇

「百万貫の岩」見学ツアー

11月5日(日) 白山・白峰温泉まつりで「百万貫の岩」見学ツアーを開催し、20名が参加しました。白山砂防科学館で白山砂防の歴史や昭和9年手取川大洪水の3Dシアター『百万貫の岩は語る』を見た後、手取川大洪水の大きな爪痕である「百万貫の岩」を見学に行き、実際に触れその大きさを体感しました。



まつり会場で受付

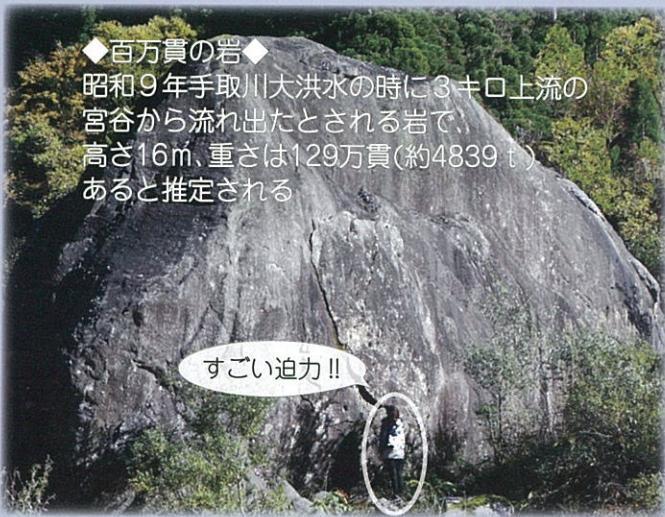


白山砂防科学館を見学

◆百万貫の岩◆

昭和9年手取川大洪水の時に3キロ上流の宮谷から流れ出たとされる岩で、高さ16m、重さは129万貫(約4839t)あると推定される

すごい迫力!!



《参加者の声》

白山砂防科学館



3Dシアターの映像は迫力があり、こんなことがあったのかと驚きました。

百万貫の岩



両手で岩を触りその大きさを体感しました



本当に大きくてこれが上流から転がって来たのかと思うと、洪水の怖さを感じました。

◇イベントのお知らせ◇

雪だるままつり 2018

白山砂防女性特派員が今年も雪だるまを作ります！

2月2日(金)白峰地区の雪だるままつりに、女性特派員が雪だるまを作ります！地域との交流だけではなく、白山砂防科学館や砂防事業の周知活動の一環として行われ、今回で13回目の参加となります。午後5時になると雪だるまのローソクに火が灯され、幻想的な景色が広がります。どこに作ってあるのか探してみてくださいね！



《開催日》

●桑島地区 1月27日(土) ●白峰地区 2月2日(金) まつりの時間 / 午後3時~9時

白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館は自由に見学する事が出来ます。ご希望に応じ解説も致しますのでご相談下さい。団体見学の場合は前もってご予約下さい。詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

白山砂防科学館 入館無料（休館日：毎週木曜日）
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991
Eメール hakusan-j@po3.nsknet.or.jp

◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所
流域対策課

〒920-8648

金沢市西念4丁目23番5号

TEL 076-264-9913

FAX 076-233-9612

Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp

「白山砂防通信」のバックナンバーは、白山砂防ホームページ(<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/hakusansabo/>)で閲覧できます。